

単元名	8 自分を見つめる 一少年の日の思い出	配当時間	6時間
単元の目標	(1) 優れた表現に触れることで、多様な語句について理解を深めることができる。 (2) 視点や立場を変えて作品を書き換えさせ、材料の用い方や根拠の明確さについて感想や意見を交流することができる。 作品の構成や展開、登場人物の心情の移り変わりを読み取ることができる。 登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつことができる。 (3) 作品に描かれているものの見方や考え方を通して、自分自身について考えようとする。		

標準的な展開例

10210301_001

【準備等】国語指導CD, 再生機, 国語辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 本文を通読し、初読の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れ・目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★「少年の日の思い出」を読み、感想を書こう。 ○全文を通読する。 ○全文を二つに分ける。 ○主な登場人物を確認する。 ○「少年の日の思い出」を一読して、抱いた感想や疑問を書く。 ○新出漢字を学習し、難解語句を調べる。 <p>2 作品の場面構成を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時に書いた感想を発表する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★「少年の日の思い出」の構成を捉えよう。 ○作品の構成を読み取る。 ○作品における前半の役割について考える。 <p>3 ちょう集めに熱中する「僕」の態度を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★ちょう集めに熱中する「僕」の様子や「エーミール」の人物像を捉えよう。 ○後半部分を六つの場面に分ける。 ○後半部分の場面①(p. 200～p. 201)を読み、ちょう集めに熱中する僕の様子が分かる部分に線を引く、表現上の効果を考える。 ○後半部分の場面②(p. 201～p. 203)を読み僕から見たエーミールの人柄を端的に表している描写に線を引く。 <p>4 クジャクヤママユに対する「僕」の心情を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★クジャクヤママユに対する僕の気持ちを読み取ろう。 ○後半部分の場面③(p. 203～p. 205)を読み僕がクジャクヤママユを熱烈に欲しいと思っていたことが分かる部分に線を引く。 ○盗んでしまった理由について考える。 ○後半部分の場面④(p. 205 L. 17～p. 206 L. 17)を読み良心に目覚めたときと、壊れたように気付いたときの僕の心情が分かる言葉に線を引く。 	<p>【評】学習のねらいや流れを理解し、目標をもつ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師による範読、または国語指導CDを活用する。 ・読後に、感想を書くことを伝える。 ・前半が現在、後半が過去であることを押さえる。 ・前半に登場した「客」と後半の「僕」が同一人物であることを確認する。 ・10分程度しか時間が取れないので、それに見合う分量でよいことを伝える。 ・ノートを提出させ次時まで一読し、目標に迫るような感想については、次時の冒頭で紹介するとよい。 ・国語辞典を活用するとよい。 ・「作品の展開を捉えよう」(p. 212)を示し、作品の構成を読み取らせる。 ・「時間(年齢)」「場所」「出来事」に着目させる。 ・伏線や描写の効果など、表現上の特色に適宜触れるようにしたい。 <p>【評】前半部分が果たす役割について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「時間」「場所」「出来事」に着目させる。 ・「熱情」という言葉の意味を考えさせ、この熱情が、事件につながることを押さえる。 ・僕から見たエーミールの人柄を、読み取らせる。 <p>【評】僕のエーミールに対する思いを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文に即して考えさせたい。 ・次のようなことを踏まえておきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ①十歳の時の熱中ぶり ②「盗む」という意識はなく、無意識に手が伸びてしまったこと ・「良心に目覚めたとき」と「壊れたように気付いたとき」を、対比できるように板書する。 ・エーミールへの謝罪の気持ちは表現されていないところにも着目したい。

5 「僕」が「エーメール」に分かってほしかったことを考える。

○ 本時の学習課題をつかむ。

★ 「僕」が「エーメール」に分かってほしかったことについて考えよう。

○ 後半部分の場面⑤ (p. 207～p. 210)を読み、僕のエーメールに対する心情について考える。

○ 僕が、エーメールに伝えなかったこと、エーメールに信じてほしかったことは何だったのかを話し合う。

○ 後半部分の場面⑥ (p. 210)を読み、僕が自分のちょうを押つぶしてしまった理由とその意味について話し合う。

6 立場を変えて、作品を書き換える。

○ 本時の学習課題をつかむ。

★ エーメールや母の立場で作品を書き換えよう。

○ 「別の人物の視点から文章を書き換えよう。」(p. 213)を基に、エーメールまたは母の立場で作品を400字程度で書き換える。

○ 書き換えた文章を読み合い、感想や意見を交換し合う。

○ 登場人物の心情の変化を捉えた学習を生かし、気に入った場面について考えをまとめる。

・ 良心に目覚めた場面における短文の効果においても触れておきたい。

【評】 良心に目覚めたときの僕の心情を読み取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・ 僕から見たエーメールの気持ちを読み取らせる。

・ 主題にも関わってくることで、学級全体で話し合いをして深めるようにしたい。

【評】 僕がエーメールに伝えなかったことについて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・ 「『僕』の心情の変化をまとめよう。」の③ (p. 212)を示し、僕が自分のちょうを押つぶした理由と意味、僕のものの見方や考え方について話し合わせる。

【評】 僕が自分のちょうを押つぶした理由について考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・ 第3時の学習活動で読み取ったエーメール像を意識させる。

・ 第4時の壊れてしまったちょうを見つけたときのエーメールの心情やそのときにとった行動を、できるだけ短い言葉で書かせる。

・ 第3時で読み取った僕のちょう集めに対する熱情を、母はどのような目で見ていたかについて想像させたい。

【評】 作品の設定や人物像・人間関係を踏まえた作品の書き換えを通して、「知識・技能」を評価する。

・ 少人数のグループを編成して、書き換えた文章を読み合わせる。

① 作品の設定や人物像等、作品に書かれていた内容を踏まえて書かれているか。

② この作品で学習した表現方法や既習の表現方法が使われているか。

③ 書き換えることや書き換えた文章を読み合うことを通じて作品の読みは深まったか。

【評】 感想や意見を交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

表現に込められた書き手などの思いやものの見方を理解することは、大事なことである。表現の工夫とは、単なる飾りではない。表現を工夫することによって、いっそう的確に描き出せたり、より効果的に伝わるようになったりした書き手や話し手の思いやものの見方などから、表現効果なども踏まえながら自分の考えをもてるようにさせたい。

また、「少年の日の思い出」は、ものの見方、感じ方、生き方の違いについて、じっくり考えさせたい作品である。これは道徳のC－(11)正義、公正・公平にあたり、これを機会に差別や偏見のないものの見方をしようとする気持ちを高めたい。